

女性チャレンジ応援拠点だより 2019 9月

〇〇〇〇〇 コラム【さあ9月、年末まで一気に疾走！】〇〇〇〇〇

暦の上ではもう中秋、13日は「十五夜」にあたります。2019年も2/3がすぎ、残り4ヶ月足らずとなりました。8月の夏休みモードから切り替わり、ここからは世の中一気に年末に向かって動きます。その動きに遅れず、先取りして、みなさんそれぞれ、確かな「実り」を収穫していきましょう。

そこで9月の「拠点女性よろず情報」テーマは…
～『説得力をもたせる一つの方法』～

過日、拠点へ相談に来られた利用者の方がこんな風に切り出されました。「わたし個人の視点や社会観を書いたところで、あまり説得力がないような気がして…」この方は、あるコンペティションへの応募を予定されていて、活動プランの企画書づくりに試行錯誤されていたのでした。

個々人の視点や観察結果はそれだけで尊重されるべきもので、必ずしも説得力を必要としませんが、たくさんの人をまきこんで活動していく際には、ある一定の層の人たちに受け入れられ、納得してもらわないと事が成り立ちません。こういった場合、〈無名〉の自分の考えを〈有名〉な人の言葉を借りて表すのも一つです。

例えば、数々の著書で経営と人生の考えを表している「稲盛和夫」の言葉や、『人を動かす』、『道は開ける』で有名な「デール・カーネギー」の教えを引用するといった具合です。ただし大事なことは、先に自分の考えがあつてのことです。自分の考えがないのに、ただの「受け売り」では説得力以前に、独創性や主体性が疑われます。その点は、自分の考えを熟考されたという方なら十分心得ておられるでしょう。世に出てチャレンジしようとするみなさんは、先の利用者の方のように、それまでのさまざまな学びから自分なりの考えが醸成されているはずですから、〈有名〉な「誰」から引用するかも、アテは簡単につくだろうと思います。先の利用者の方も実際、過去に読んだ本の著者の考えが一番しっくりきたそうです。

ご参考まで、昨年出版された『アウトプット大全』という本がよく売れたようですが、適切で良質なアウトプットのためにはインプットが大事ということでしょう、つい先月には同じ著者で『インプット大全』が出ていました。ヒントになることに出会えるかもしれません。

さて、〈有名〉な人の言葉に後押しされつつ、社会のさまざまなテーマに取り組みようとするみなさんは、ご自身のその姿勢こそが第一の説得材料。そういうみなさんをまた後押しするのが「女性チャレンジ応援拠点」です。気軽に、ふらっと、気兼ねなく、どうぞお立ち寄りください。みなさんのご来室をスタッフ一同お待ちしております。

〇〇〇〇〇 24区「区民だより」をご覧くださいませ 〇〇〇〇〇

各区の公共情報や地域情報の収集など、地域でのチャレンジや活動の参考にもなる、「区報（区民だより）」。大阪市内24区分すべての区民だよりを拠点でご覧いただけます！必要な方は、スタッフにお声がけください。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央4階

電話＆ファックス：06-7659-9640

メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営団体：大阪市男女いきいき財団

※開室日

| 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 10:30 ～ 12:30 | 18:00 ～ 20:00 | 13:00 ～ 15:00 | 10:30 ～ 12:30 | 13:00 ～ 15:00 |

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

※開室時間内は自由に入退室いただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

